

シリーズ 各国のビジネスリスクを踏まえた成功する海外子会社の経営管理V グローバル・クライシス・マネジメント

●プログラム●

【開催主旨】

海外駐在員の生命財産を守る海外安全マニュアルの意義と概要、海外駐在員の海外脱出計画策定方法、駐在員が誘拐された場合のシミュレーション・トレーニングを実務経験豊かなコンサルタントが分かり易く説明させて頂きます。また、本社が対応を求められる広報対応についての基礎知識も学んで頂きます。

◆日時：2018年3月5日(月) 10:00~17:00

◆会場：東京・麹町 「企業研究会 セミナールーム」

◆講師：コンサルビューション(株) 代表取締役 中小企業診断士、事業承継士 高原彦二郎氏

【略歴】

1980年に出光興産(株)入社。1985年から出光興産(株)ロンドン支店、香港事務所副代表、北京事務所所長、2002年から出光興産(株)海外部海外課課長を歴任後に独立。出光興産在職中、中東駐在員脱出とテロリスト対応のクライシスマネジメント、海外店の内部監査、内部統制システム構築など23カ国の海外子会社経営管理等を経験。2005年7月にコンサルビューション(株)を設立。著書「中国進出企業の労務リスクマネジメント(日本経済新聞社出版)」など。

(株)オオコシセキュリティコンサルタンツ 代表取締役社長 大越 修氏

【略歴】

警視庁に20年間在籍。この間、3年間外務省へ出向し領事としてニューヨークへ。海外におけるセキュリティを経験すると同時にFBI、NY市警など米国の法治機関と親交を持つ。帰国後87年からエッソ石油に入社、セキュリティ部門を設立。その後、JPモルガン銀行、及びAIG(アメリカン・インターナショナル・グループ)にてセキュリティ・マネージャーを務める。米国の危機管理専門会社クレイトン・コンサルタンツ(トリプルキャノピーグループ)のシニア・コンサルタントを経る。

(株)オオコシセキュリティコンサルタンツ 副社長 シニア・コンサルタント 萩 隆之介氏

【略歴】

1965年に住友商事入社、バイルート駐在、バグダッド駐在、アルホバル(サウジアラビア)駐在、クアラルンプール駐在。バイルート駐在時に内乱激化で陸路シリアへ脱出。バグダッド駐在時にイラン・イラク戦争勃発に遭遇し、イラン機の空襲に怯える体験を。1997年から人事部門で7年にわたり海外安全専任担当として勤務。2004年1月に同社を定年退職。同年3月からシニア・コンサルタントに就任。財団法人海外邦人安全協会理事。

(株)オオコシセキュリティコンサルタンツ パートナー コンサルタント 菊地 彰夫氏

【略歴】

(株)電通パブリックリレーションズにおいて40年間にわたり企業経営と戦略広報に関するパブリックリレーションズコンサルティングに従事。多くの企業事件や国内外の事案に関わる。企業広報戦略の助言、危機管理、クライシスマネジメント(緊急事態への対応)、イシューマネジメント(企業の紛争・係争の管理)、コーポレートレピュテーションマネジメント(企業の評判の管理)、M&A・ファイナンスコミュニケーション、コーポレートガバナンス及びコンプライアンス体制の構築、企業法務コミュニケーション、企業トップメディアトレーニング等のPRコンサルティングが専門。大手企業の危機管理・イシューマネジメント多数。

●参加要領●

一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛

*当会ホームページ(https://www.bri.or.jp)からお申込みいただけます。

●受講料●1名(税込み、資料代、昼食代含む)

正会員	43,200円 (本体 40,000円)
一般	46,440円 (本体 43,000円)

- 申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてにFAXいただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
- 申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。
- 会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより【TOP】→【公開セミナー】→【よくあるご質問】をご参照下さい。
- 最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。ご了承下さい。

一般社団法人企業研究会

担当：村野 E-mail murano@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

TEL 03-5215-3512 FAX 03-5215-0951

171592-0903	2018.3.5 グローバル・クライシス・マネジメント		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			

シリーズ 各国のビジネスリスクを踏まえた成功する海外子会社の経営管理Ⅳ

グローバル・クライシス・マネジメント

1. グローバルリスクの潮流変化と海外脱出計画について

(1) グローバルリスクの変化について

(2) 海外駐在員脱出計画（中東事例）

2. 海外安全マニュアルの意義と概要

(1) マニュアルの必要性

(2) マニュアルの基本的なパターン

3. 誘拐シミュレーションと本社広報対応

(1) 誘拐の発生から人質解放に至る時系列的流れ

(2) 講師と受講者間のQ&A形式の誘拐事件のシミュレーショントレーニング

(3) 本社の広報対応